

## 女性社員でも 安心安全に働ける 制度や職場環境を 整えています



代表取締役社長  
石ヶ森祐紀さん

戸田さんは、どんなことでも果敢に挑戦し、必ずものにしてくれるスーパー・ウーマンです。女性ならではの細やかな気配りや決断力でものづくりの現場に貢献しています。

現在携わっている情報加工の仕事では、製造現場の作業が必要としている情報をきちんと理解して、的確な指示を届けてくれます。戸田さんが培ってきた、これまでの現場経験が生かされた結果だと思えます。

私たちの会社では、女性が安心して活躍できるように様々な取組をしています。育休・産休・時短勤務などの働き方に関する制度を整えているほか、工場内の女性が働くエリアから重いものや危険なものを排除することで、ポロシャツや帽子でも作業可能な環境を確保しています。

### 有限会社大成工業

1970年創業。住宅総合メーカーの大和ハウス工業株式会社の協力会社として建築物の鉄骨部材製造を担う

大崎市古川小野字中蝦沢 133  
(大和ハウス工業株式会社東北工場内)  
TEL 0229-28-1218  
FAX 0229-28-3237  
従業員数 92人 / 女性 14人  
(東北工場：2017年10月現在)



**溶**接の資格を取った後も、作業用ロボットアームや天井クレーンの操作に必要な資格を取得して、様々な仕事を経験しました。たくさんの資格を持っていることで、自分ができる作業の幅が広がり、仕事に対するやりがいやより大きく感じることができました。

また、祖母の介護が必要になったときには、会社の柔軟な対応によって今の部署に異動し、仕事と家庭を両立することができました。

このようにスキルアップのチャンスを与えてくれたり、働きやすい環境を整えてくれたりと、会社の手厚いサポートのおかげで安心して働くことができています。

休みの日は、高校のソフトボール部には所属している娘の送迎係をしています。試合があるときは、会場で声援を送り、ハラハラしながら観戦しています。

みなさんの中には、社会人になる前に自分に合った職業を見つけれないと悩んでいる人がいるのではないのでしょうか。でも、心配する必要はありません。自分がどんな仕事で活躍できるのか、どんな仕事にやりがいを感じるのか、そのことを社会人になってから気づくことがあるからです。

大切なのは、どんなことでもまずは好奇心をもってやってみようという前向きな気持ち。ひよっとすると、思わぬ形で好きな仕事と巡りあえるかもしれません。

## 休日は娘の部活の応援に。 ソフトボール観戦で リフレッシュしています!



「試合で遠征のときは、チームメイトも車に乗せて出かけます。元気で明るい子どもたちから、パワーをもらっています」



## 「一生に一度の買い物」と言われるマイホーム。家づくりに関わる喜びと責任を日々感じています。



最初のうちは、溶接した部分が盛り上がりすぎてしまったり、穴が開いてしまったりと、ちょうど良いスピードで溶接する感覚をなかなかつかめず苦労しました。それだけに、1回目の試験で合格できたときは、とてもうれしかったです。3年後には、溶接競技大会の県大会に出場しました。私が初めての女性競技者だと聞いて緊張しましたが、奨励賞をいただき自信につながりました。

ものづくりの仕事を通じて、会社や家を手に入れた人たちの力になれることへの喜びを実感しています。

## みやぎ ものづくり女子 「建物の骨組みを 作っています」

有限会社大成工業 (大崎市)  
とだ まゆみ  
戸田 真由美さん  
入社 12年目



アーク溶接をする戸田真由美さん。アーク溶接とは、空気中の放電現象(アーク放電)を使って、同じ金属同士をつなぎ合わせる溶接法のこと

**住** 宅や事業所、医療施設などの建築物を支える柱や、外壁を作る会社で働いています。

私は図面をもとに、各工程で必要な作業の手順や寸法などの情報を振り分け、それぞれの現場担当者に内容を伝える情報加工部門に所属しています。情報加工をすることで、担当者は図面を見なくてもその日の作業内容を理解できるため、効率よく作業をすることが出来ます。私は、どうしたら工場で働くみなさんが作業をしやすくなるかを考えながら仕事をしています。

この会社に入社した当初は、機械を使って鉄骨の切断や穴を開ける工程を担当していましたが、人手が足りなくなった溶接部門をフォローするため、溶接の資格を取得しました。これまで溶接の経験がまったく無かったこともあり、上司や先輩に道具の扱い方や専門用語から教えてもらいました。仕事が終わった後は職場に残り、実技試験の練習を繰り返しました。